

## 実践事例演習 I 事前課題「理論を言語化する」

事前学習資料、ワークブックⅡ掲載 (p 25～45) の『新 社会福祉援助の共通基盤 第2版』「社会福祉士がとらえる相談援助 第4節 社会福祉援助活動の展開過程」を読み、社会福祉士取得を目指している学生に説明をするためのレジюмеを作成してください。

**※今回はオンラインの講義となり、ワークブックⅡ p 25の課題を変更していますので、以下を必ずご確認の上、課題に取り組んでください。**

- レジюмеは、A4用紙1枚から2枚で、配布用資料としてまとめてください。  
レジюмеの先頭に、受講者番号、受講者氏名を必ず記載ください。
- レジюмеの内容は10分で発表できるようにまとめてください。  
「理論を言語化する」のが本演習のテーマですので、学生に質問し学生が説明するだけのまとめ方**以外**で、レジюмеを作成ください。
- レジюмеは次の方法で締め切り日までに、メールへ添付した上で提出してください。  
(ワークブックに記載の7部の印刷の準備は不要ですが、研修当日は手元に1部印刷しておいてください)
- 事前課題の提出がない場合は、講義の出席は認められません。

### ◎事前課題の提出のお願い

- ・提出締切： 2021年7月16日(金)
- ・提出先 : [kensyu-kadai@hacsw.or.jp](mailto:kensyu-kadai@hacsw.or.jp)
  - ★件名に「基礎Ⅱ 7/16 提出課題」とご記入ください。
  - ★添付する課題には、必ず受講者番号・お名前をご記載ください。
  - ★課題を作成する際に、ファイル名は「受講者番号+お名前」としてください。  
入力例：受講者番号20202001 福祉太郎さんが課題を提出する場合  
「20202001 福祉太郎」と入力してください。

オンライン研修③「実践事例演習」では実際にレジюмеを使用し発表していただきます。当日までに、作成したレジюмеを使用しての内容説明ができるようにしておいてください。(説明時間の多少はありますが、グループ別の演習にて、全員の方に説明をしていただきます)

- ・受講当日、作成した事前課題は画面共有ができるようにあらかじめデータを開いておいてください。
- ・また、画面共有ができない場合に備え、事前課題を印刷したものを手元に置いてください。(画面共有の代わりに、カメラに映していただきます)